

JAL機体整備工場見学会及び 新年懇親会：東京連合支部主催

東京連合支部では、平成23年度最後の行事として、平成24年2月1日(水)に「JAL機体整備工場見学会」を実施し、合わせて「新年懇親会」を日立金属高輪和彊館で開催しました。

ご来賓として、熊谷支部長：布河谷源治様、川崎支部長：川島克之様、横浜支部副支部長：岡田喜久夫様、桐生から前常務理事：白石弘三様はじめ他支部からの出席者も含めて総勢34名が参加されました。

見学会は、14:30に東京モノレール新整備場駅改札口に集合し、徒歩2分でM1ビル正面玄関前に着き、受付、入管証を受け取って3F見学者ホールに集合。ここで工場見学全般のオリエンテーション、VIDEOを使用した航空教室で「飛行機が飛ぶ仕組み」・「構造」などの話を聞いた後、ジェットエンジン、航空機・格納庫の模型等の展示物を見学、またパイロットの制服・制帽など着用して写真を撮ったりした。その後2班に分かれて格納庫の方へ移動し、航空機及び整備に関する概要説明を聞いて機体整備の実態を見学した。フロアでは、圧倒されるような大きさの航空機のすぐ近くまで進んで、全員で集合写真を撮り、格納庫の扉を開けて飛行機の離陸の様子などをすぐ近くで見学し、時間をオーバーして16:45頃終了した。

見学終了後、チャーターしたバスで品川の日立金属高輪和彊館まで移動、すぐに懇親会に移った。

最初に東京連合支部長：三上忠男氏の挨拶に続いて、最長老の青山寛次様の音頭で乾杯して歓談に移った。丸テーブルを囲んでの会食なのでゆったりと歓談しながらご来賓の方々のご挨拶を頂いた。

ご来賓の挨拶の後、各支部の会員の方々の近況などを話していただきながら楽しく

懇親の会を進め19:45散会した。

今回のJAL整備工場の見学は、気候の良い時期に予約が出来ず、寒いこの時期になってしまったにもかかわらず、多数の会員の参加で、懇親会も含めて大変有意義に過ごすことが出来ました。

(東京機械建設支部長：38M野尻貞夫)



整備中のJAL機を背景に。



整備工場内の見学



発着の瞬間を見届ける会員